

The Ribbon Communications SBC SWe Lite™ Session Border Controller



Ribbon Communications セッションボーダーコントローラー ソフトウェアエディション・ライト (SBC SWe Lite) は、中小規模ビジネス (SMB) の 仮想化ネットワーク環境に最適化された SBC です。SBC SWe Lite は、仮想化 CPE (vCPE)、ユニファイドコミュニケーション (UC) や SIP トランキング向けのセキュリティやサバイバビリティを提供します。普及している Microsoft® Hyper-V®, VMWare® vSphere® Hypervisor や Linux® KVM をサポートすることにより SWe Lite は早く簡単にインストールすることが可能です。

- Ribbon SBC SWe Lite は、その機能を Tolly® Certified や Miercom® パフォーマンス検証済みとされた SBC 1000 や SBC 2000 との共通コードを元に提供します。
- カスタマーは UC や SIP トランキングへ移行するときに、次のような同じアドバンテージを期待することができます。- カスタマーの音声インフラストラクチャーを DoS/DDoS アタックから保護、プライバシー維持、通話の暗号化、幅広いサードパーティー製 SIP やレガシーインフラストラクチャーデバイスやサービスとのインターワーキング、信頼性、拡張性、パフォーマンス
- SBC 1000/ 2000 と同一の管理・設定 GUI インタフェースを提供することにより、SBC SWe Lite はシンプルで非常に直観的な設定ウィザードを通じて劇的な早さで設定可能です。さらに、共通コードベースは、SBC SWe Lite に競合他社には類のない多くの利益をもたらします。- 極めてコンパクトな CPU、RAM、プログラムデータストアは、制約の厳しい vCPE 処理環境向けに独自に位置付けされています。
- その結果、UC/SIP トランキングのサポートで vCPE デバイスを導入するコストと複雑さが大幅に削減されます。



シングル インスタンス 機能 ・ 最小設定 (1 vCPU, 1GB RAM 仮想マシン)

- 最大 SIP⇄SIP 同時セッション数: 100
- 最大 RTP⇄RTP 同時セッション数: 100 (Direct Media または RTP Proxy モード時)
- 最大 (G.711⇄G.729) コーデック変換セッション数: 50
- 最大秒間呼処理数: 10 cps

レジストレーション

- 最大レジストユーザ受付数: 1,000

暗号化

- 最大 TLS セッション数: 100
- 最大 RTP⇄SRTP セッション数: 100
- 最大 SRTP⇄SRTP セッション数: 100 (Direct Media または RTP Proxy モード時)

シングル インスタンス 機能 ・ 最大設定 (2 vCPU, 1.5GB RAM 仮想マシン)

- 最大 SIP⇄SIP 同時セッション数: 1,000
- 最大 RTP⇄RTP 同時セッション数: 1,000 (Direct Media または RTP Proxy モード時)
- 最大 (G.711⇄G.729) コーデック変換セッション数: 100
- 最大秒間呼処理数: 10 cps

レジストレーション

- 最大レジストユーザ受付数: 1,000

暗号化

- 最大 TLS セッション数: 1,000
- 最大 RTP⇄SRTP セッション数: 1,000
- 最大 SRTP⇄SRTP セッション数: 1,000 (Direct Media または RTP Proxy モード時)

シングル インスタンス 機能 ・ 最大設定 (4 vCPU, 2.5GB RAM 仮想マシン)

- 最大 SIP⇄SIP 同時セッション数: 1,000
- 最大 RTP⇄RTP 同時セッション数: 1,000 (Direct Media または RTP Proxy モード時)
- 最大 (G.711⇄G.729) コーデック変換セッション数: 300
- 最大秒間呼処理数: 10 cps

レジストレーション

- 最大レジストユーザ受付数: 5,000

暗号化

- 最大 TLS セッション数: 1,000
- 最大 RTP⇄SRTP セッション数: 1,000
- 最大 SRTP⇄SRTP セッション数: 1,000 (Direct Media または RTP Proxy モード時)

ビジネス継続性

- ビルトイン SIP レジストラによる拠点救済
- BroadWorks® 向けローカルサバイバビリティ
- 複数 SIP トランクサービスサポートによる冗長性
- ビルトイン SIP レジストラによる拠点救済

メディアサービス

- G.711, G.722, G.722.2 (AMR-WB), G.723.1(5.3kbps, 6.3kbps), G.726 (32 kbps), G.729A/B (8 kbps)
- ビデオ (パススルー)
- DTMF/RFC2833,4733; インバンド DTMF; SIP INFO
- 音声区間検出:無音圧縮 (VAD)
- ITU-T G.168 エコーキャンセラ (最大 128ms テール長)
- コンフォートノイズ生成とパケットロス補完処理(PLC)
- 自動コール種別検知 — 音声, FAX または モデム
- 保留音再生
- コール プログレス トーン生成 — RBT, BT, ROT など
- 利用されていない RTP の モニタリング (浮き呼 検知)
- RTP パススルー と メディアバイパス
- RTCP/RTCP-XR
- 発信者 ID サポート
- Ethernet ポートの冗長性(マルチプルスパンニングツリー およびフォールトトレランス)対応

マネージメント能力

操作と管理

- セキュアかつ統一された web-ベース GUI と リアルタイム モニタリング
- 3 ステップ簡易設定ウィザード
 - KDDI, NTTdocomo 接続対応
- 複数の SBC SWe Lite をリモートから管理可能な REST-API
- SNMP v2c/v3 サポート
- コンフィグレーションのバックアップとリストア; 部分的なコンフィグレーションのインポート/エクスポート (REST-API 利用も可能)
- CDR 出力
- Syslog 外部出力またはローカル log 出力
- 統計履歴情報と各閾値を超えた際のアラート (TCA)

認証

- ローカルユーザー(ユーザー名/パスワード)
- アクティブディレクトリ
- RADIUS

シグナリング

- 最大シグナリンググループ数: 100
- バック・ツー・バック ユーザー エージェント (B2BUA)
- SIP (UDP/TCP/TLS) ⇄ SIP (UDP/TCP/TLS)
- SIP メッセージ操作 (SMM)

サポートするプロトコル

- SNMP v2c/v3
- NTP
- HTTPS
- RTPv2, OSPF
- RTP/RTCP, SRTP/SRTCP
- SIP over UDP, TCP, TLS
- IPv4, IPv6, と IPv4/IPv6 インターワーキング
- DNS
- DHCP サーバー
- DHCP クライアント
- 非同期 DNS for SIP
- NAT
- Reason ヘッダーサポート

ルーティング/ポリシー

- 最大コールルートエントリ数: 1,000
- アクティブディレクトリ/LDAP-ベース コールルーティング
- 品質指標ベースのルーティング
- 最少コストルーティング
- プログラム可能なイベントベースのルーティング action set
- オンボード コール フォーキング (最大 8 エンドポイントまで)
- 補助サービス
 - 保留
 - 責任転送/無責任転送
 - 着信転送
- 組み込みポリシー・ルーティングエンジン
- Sonus PSX サーバと SIP を利用した集中型ポリシー・ルーティング (オプション)
- スクリーニング, ブロック, ルーティング, プレゼンテーション, コールタイプフィルター
- ルーティングの優先順位付け
- 番号ベースルーティング; URI-ベースルーティング
- 番号変換 (正規表現やアクティブディレクトリ参照を利用した name/number 操作)
- SIP ルーティング
 - ソース IP/デスティネーション IP ベース
 - FQDN ベース
 - SIP Proxy サーバ障害の検知と代替パスへの迂回
 - Cause コードベースのコール迂回

Quality of Service (QoS)

- 帯域管理
- コールアドミSSIONコントロール (CAC)
- 送信間隔(P-time) 調整の仲介
- 呼毎の統計
- Diffserv/DSCP マーキング

接続可能な国内 IP 電話・FMC サービス (認定順)

- NTT ドコモ オフィスリンク
- KDDI 光ダイレクト KDDI ビジネスコールダイレクト
- NTT コミュニケーションズ Arcstar IP Voice
- Colt SIP Trunking

セキュリティ

- TLS1.2 (SIP)
- SRTP (メディア)
- ビルトイン VoIP ファイヤーウォール
- トポロジー隠ぺい
- DoS/DDoS 対策
- DNIS, CLID
- VLAN
- 不正パケットからの保護
- ACL
- IPSec VPN トンネル
- NAT/NAPT、ポートフォワード

Packet Network Time Source

- NTP (RFC1708 準拠)

Microsoft® Skype for Business / Teams 対応

- Microsoft Teams Direct Routing 対応
- Lync 2013, Lync 2010 & Skype for Business 対応エンハンスト
ゲートウェイ認定
- Lync 2013, Lync 2010 & Skype for Business 対応 SBC 認定
- Office 365 Exchange ユニファイドメッセージング認定
- 非-Lync SIP クライアント ユーザー状態の Lync クライアン
トへの通知 (e.g., 通話可能, ビジー, etc.)
- Microsoft SCOM サポート
- Lync Quality of Experience (QoE) モニタリング: 通話 RTP ス
トリームデータの収集と QoE サーバーへの送信
 - ラウンドトリップタイム遅延
 - ジッター (最大, 平均)
 - パケットロス (最大, 平均)
 - パケットロスレート (最大, 平均)
 - Burst (density, gap density)
 - MOS-LQ, MOS-CQ
 - Signal/Noise Level
 - Microsoft Systems Center 2012 R2
- Skype for Business SDN API 2.2 サポート
- Nectar Unified Communications Management Platform
(UCMP)との統合

仮想マシン システム要求

CPU

- 要求するキャパシティに応じて 1,2,4 仮想 CPU (vCPU)
 - 推奨プロセッサ: 第 2 世代 Intel® Core™ または Intel®
Xeon®

メモリ

- 要求するキャパシティに応じて 1, 1.5, 2.5 GB RAM

ハードディスクドライブ

- 5GB

仮想ネットワークインタフェースカード (vNIC)

- 最小 2 vNIC (利用時)
- 5 vNIC (初期設定時)

サポートする仮想マシン環境

- Microsoft® Hyper-V®
- VMWare® vSphere® Hypervisor (ESXi) Version 5.5. 以上
- Linux® KVM

Ribbon Communications について

Ribbon は IP ネットワーキングのトップ企業で、安全で、信頼性・スケーラビリティの高い次世代インフラストラクチャおよび加入者ソリューションの提供で豊富な実績があります。世界中の 50 か国以上に顧客を抱え、ネットワークの IP 化で 20 年以上の実績がある Ribbon は、サービス プロバイダやエンタープライズによるユーザ確保と維持、高 ROI 達成に貢献してまいりました。Ribbon ではセッション ボーダー コントローラ、ポリシー/ルーティング サーバ、加入者機能サーバ、メディア ゲートウェイとシグナリング ゲートウェイなどの製品を扱っています。Ribbon 製品は世界最大規模で最も複雑な IP ネットワークの設計、導入、保守経験を備えた、グローバル サービス チームや経験豊富なパートナーがサポートいたします。詳細はリボン・コミュニケーションズまでお問い合わせください。

リボン・コミュニケーションズ

〒108-0014

東京都港区芝 4-13-2 田町フロントビル 5 階

Tel: 03-6414-8500



Voice
Unified Communications
Business Productivity Solutions
Midmarket Solution Provider

本書に記載の内容は情報提供のみを目的としており、Ribbon Communications が通知なく変更することがあります。本書の作成にあたってはできるだけ正確な情報を記載するように注意しましたが、Ribbon Communications は技術的または編集上の誤記や記載漏れに起因する損害、または本書の利用によるその他いかなる損害の責任を負いません。Ribbon Communications との合意文書に明記されていない限り、Ribbon Communications は将来的なリリース、アップグレード、機能、拡張を開発、または提供する責任を負いません。

Ribbon Communications は Ribbon Communications, Inc. の登録商標で、SBC 1000、SBC 2000 および SBC SWe Lite は Ribbon Communications, Inc. の商標です。その他のすべての商標、サービス マーク、登録商標、または登録サービス マークは、該当する各所有者に帰属します。